

四谷の

千枚田だより



第 265 号



第三十三回三遠南信サミット

三遠南信州

【三遠南信とは、豊橋市を中心とする愛知県の東三河地方、浜松市を中心とする遠州地方（西遠、中遠）、飯田市を中心とする南信州地域（信濃の南部）の県境を跨いだ地域の呼称】
十月六日、長野県飯田市文化会館であり「人口減少時代の広域連携」を継続的に成長する地域の創生をテーマに、次世代の地域連携について市町村の首長や議会議員、商工団体、民間団体らが意見交換した。



開会に先立ち、三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）会長の浜松市の中野祐介市長は、三遠南信自動車道やリニア中央新幹線の整備に触れつつ「地域が飛躍する好機が到来してきている」と強調。「人口減少という課題に総力を結集して対応する必要がある」とあいさつした。

分科会Ⅱ第一分科会「道・住・人」人口減少時代における生活・社会インフラの活用について、第二分科会「技・人」人材獲得競争を克服する「稼ぐ力」の創出、第三分科会「風土・住・人」の三つの議題に分かれ紹介。観光を扱った第3分科会で、新城市の下江洋行市長が、担い手不足解決のヒントとなる事例を提示。市内に工場がある横浜ゴムが名所「四谷の千枚田」の外來植物除去に参加している取り組みなどを紹介するなど、各自自治体や民間団体が、人口減少時代における地域の取り組みを紹介した。

全体会Ⅱ日本総合研究所主席研究員の藻谷浩介さんが「人口減少時代の三遠南信地域、切り拓く未来」と題して講演。三遠南信地域の人口密度や二十五年後（2050）に予想される七十五歳以上の人口構成から、地域にある将来性を解説。また、東京だけ人口が増えていると言われるが増えているのは高齢者。田舎の方が

出生率が高く、若者を受け入れる一部の過疎地は子供が再増加し、先に再生へ向かうと指摘。

講演を聞きながら、ふと田舎だけが過疎化している訳でなく、日本全国民の人口減少が起因、過疎化している。かえって田舎より街場（都市）の方が空き家の数が多く、明治時代から経済成長期に繁栄した街並街道なども疲弊、空家街道化しているなどと、勝手な憶測をしながら耳を傾けた。

サミット宣言は飯田市の佐藤健市長が人口減少を地域共通の課題として捉え、これまでの取り組みを振り返るとともに新たな知見を共有し、県境を越えた広域連携の重要性を改めて認識した上で、人口減少時代における広域連携、特に「インフラ」「地域産業」「観光」の側面から議論し持続的発展の一助とする。といった内容が盛り込まれた宣言文を読み上げた。

住民セッション
三遠南信住民ネットワーク協議会住民セッションを三遠南信サミットに合わせて午前中、飯田市のムトスぷらざで開き、「人口減少時代の県境を越えた交流と連携、関係人口（ファン）づくり」をテーマに①国境を越えた「山大国」の交流②「遠山郷の藤系文化の伝承活動と交流について」③「和合小学校の山村留学の特色」などの話題提供があった。意見交換で、私は、各々が素晴らしい活動である。遠山郷は、かつては羊を多く飼い、羊毛の産地でもありジンギスカン鍋の発祥の地と聞く、これを謳い文句にしたら……と山村留学を個人で、しかもすべて自

費で立ち上げたことに感服、活動に足を引っ張る者は……との問いに、まったくいかなかったし、和合はみんな高齢者で文句を言う元氣者もいない。と明快な回答をいただいた。今回のサミットは四百二十人が参加、多くの知見を得た。来年度は遠州地域で予定されている。

知って得

三遠南信各地域の特徴

愛知県東三河地域（三）…豊橋市を中心とし、製造業や農業が盛ん。静岡県遠州地域（遠）…浜松市を中心とし、輸送用機械や光技術、精密機械などの産業集積がある。長野県南信州地域（南信）…飯田市を中心とし、古くから塩の道や秋葉街道などの交通の要衝として栄え、農業も盛ん。

三遠南信地域が目指すこと
地域連携と活性化…三県の連携を強化し、地域のポテンシャルを活かした地域振興を目指す。
産業の発展…農工商連携を推進し、地域資源の発掘と活用を通じて持続可能な地域経済の創造を目指す。
文化・交流の促進…山から海へつながる豊かな自然環境の中で、地域文化の保存・継承と、県境を越えた地域間交流を促進する。

地域連携の取り組み例
三遠南信自動車道…三つの地域を結び、地域間のアクセス向上、災害に強い道路網の構築、地域の秩序ある開発と発展に寄与する高規格幹線道路。
三遠南信サミット…三県と五十七市町村、関係機関が一堂に会し、地域の将来像や連携に向けた取り組みを具体化する会議。

稲刈り

① ヤマサちくわ(豊橋市)は四谷の千枚田の保存継承を視野に「稲作ツアー」を実施。九月十四日に原田英史(保存会理事、ふるさと指導員)の指導で稲刈りツアーを体感した。



② 鳳来寺小学校五年生は多様性に富んだ「四谷の千枚田」を校外学習の場として生きもの観察や歴史、文化などを学んでいる。

その一環として田植えから収穫まで千枚田の一面を学校の圃場として田起こし、代掻き、稲刈り、また、十二月には後輩の四年生にバトンタッチを兼ねた冬耕を行った後、田舎の学校の児童でないとできない「田んぼ飛び」を行うなど、ふるさとの思い出づくりを野外学習に取り込んで行っている。



九月二十二日、雨模様の悪天候で日延べした稲刈りを行ったが、前々日に児童たちの田んぼにイノシシが侵入、田んぼで泥遊びされてしまった。それ以前にもサルやニホンジカに稲穂を食べられ、大切に育てた稲が気の毒なくらいの収穫になっ

脱穀

十月九日、豊橋調理製菓専門学校

の脱穀を行った。
今年、田植え、田の草取りは行ったが、稲刈りは雨模様のため中止やつと脱穀までに漕ぎ付けたが、鳳来寺小学校と同様、害獣被害が大き

く、収穫量が気の毒なくらい少な

かった。先生は「これも、共生」と諭

していたが、悲しいことである。

奥三河トレイルランニング
エイドステーション
運営協力をお願い
平成二十七年に開催した「奥三河パ



昨年のエイドステーションの状況

ワートレイル」は昨年「奥三河トレイルランニングレース」と名称変更、十周年記念事業として開催。地域に暮らす奥三河の温かい人々のおもてなしを受けながら、東海自然歩道でのレースを展開する。

開催日

令和七年十月二十六日(日曜日)

スタート

茶臼山高原 午前六時(六十km)出走者二百二十名

田口小学校 午前九時半(三十km)出走者一百十五名

ゴール地点 湯谷温泉イベント広場

この大会のエイドステーション(ふれあい広場)の運営を新城市から依頼されました。これには地域の皆さんの協力が不可欠です。当日の参加

選手の到着は十時頃を想定、到着した選手には「おにぎり」や「シシ汁」



季節の風物詩 稲架かけ

を振る舞います。そのため、出役、協力して頂く皆さんには早朝から炊き出し等、準備をお願いすることになります。そんなところをご理解いただき、ご無理は承知ではありませんが、ご協力をお願いします

全国棚田(千枚田)サミット参加

十一月一日、二日に大分県別府市(天間棚田、東山の棚田群、内成棚田、堂面棚田、大所棚田)で開催される第三十回全国棚田(千枚田)サミットに別府市棚田でウエル 想いと願いをこめて、に保存会から田中幸夫、丸地典利、松下 誠 小山舜二が参加、全国の棚田から参集する棚田関係者から新たな知見を取得するため、参加する。

行 令和七年十月十五日
鞍掛山麓千枚田保存会
文 責 小山舜二